

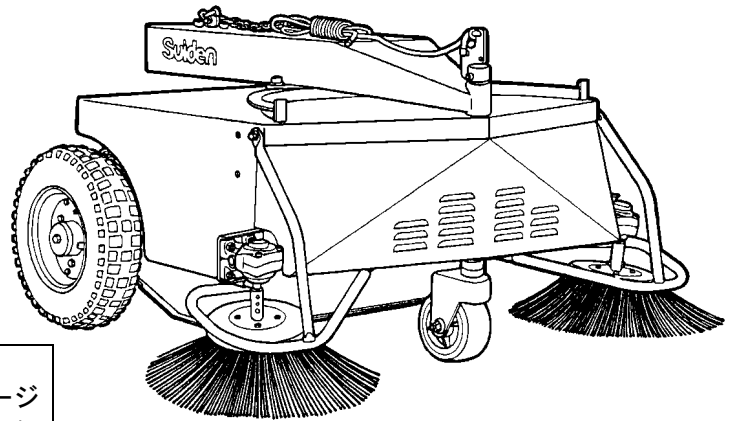
# Suiden

## メカホーキ Yuso ST-1501DC

### 取扱説明書

**本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。**

世界のブランド<Suiden スイデン>製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。  
ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。



#### フォークリフト装着用

もくじ		ページ
1	安全のために必ずお守りください	1
2	仕様	3
3	各部の名称と付属品	4
4	準備	5
	1. ギャザアップブラシの取付け	5
	2. バンパーの取付け	5
	3. フォーク幅の調整とフォークのセット	6
	4. 固定用鎖の巻付け	6
	5. ちりおとし紐の固定	6
5	使い方	7
	1. 清掃スピード	7
	2. 進路変更	7
	3. 集じんファン	8
	4. ダストBOXに溜まったゴミを捨てる	8
	5. 保管	8
6	各部の調整	9
	1. ギャザアップブラシの高さ調整	9
	2. Vベルトの調整	9
	3. 回転ブラシの高さ調整	10
	4. ダストBOXオープン用ワイヤーの調整	10
	5. タイヤの空気圧	11

	ページ	
7	消耗部品の交換	11
	1. ギャザアップブラシの交換	11
	2. Vベルトの交換	11
	3. 回転ブラシの交換	12
	4. タイヤの交換	12
	5. キャスターの交換	13
	6. フィルターの交換	13
	7. ゴムブラシの交換	13
8	安全のための点検のお願い	14
9	こんなときは(故障かな?と思ったら)	14
10	アフターサービスと保証について	15
	* アフターサービスのお申し込みについて	15

# 1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、△警告・△注意の2つに区分しています。




しかし、△注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。


**△警告**：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

**△注意**：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。


**注記**：警告・注意以外の情報を示します。




絵表示の例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項を描いているものもあります。（左図は発火注意）
		⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項を描いているものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項を描いているものもあります。

## ●製品仕様への注意事項


<b>△ 注意</b>	
	決められた製品仕様以外で使用しない。 * 爆発・火災・水漏れなどの原因になります。

## ●搬入・移動上の注意事項



<b>△ 注意</b>	
	搬入・移動に際しては、フォークリフト免許所持者が行う。 * 誤った操作などにより、ケガや事故の恐れがあります。

<b>△ 注意</b>	
	搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 * 落下・破損などによりケガや事故の原因になります。
	自動車などへの積み込み、積み降ろしを人手により行うときは、4人以上で作業する。 * 本機の質量は130kgです。落下などによりケガや事故の恐れがあります。
	開梱後、本機を自動車などで運搬するときは、ロープなどを使用し、確実に固定する。 * 思わぬ事故を引き起こすことがあります。





## ●組立ての際の注意事項







<b>⚠ 注 意</b>	
	付属品は、指定のボルト・ナットを使用し、しっかりと締付けて固定する。 * 締付けがゆるいと使用中に外れる恐れがあり、事故の原因になります。

## ●装着の際の注意事項



<b>⚠ 注 意</b>	
	必ずフォークリフトのフォークを2本とも本機のフォーク受けに差込む。 * 片フォークだけでの清掃作業は、本機の動きが不安定になり大変危険です。
	固定用鎖で、必ず本機の抜け止めをする。 * フォークリフトの急停車などで、本機が抜けて暴走すると、ケガや事故の原因になります。

## ●試運転・運転の際の注意事項




<b>⚠ 警 告</b>	
	試運転・清掃作業は、フォークリフト免許所持者が行う。 * 誤った操作などにより、ケガや事故の恐れがあります。
	酒気を帯びた人、本機の知識の無い人、過労・病気・薬物の影響のある人など、正常な運転操作ができない人は、作業に従事しない。 * 誤った操作などにより、ケガや事故の恐れがあります。
	灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くで使用しない。 * 爆発したり、火災の原因になります。
	アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛や化学物質などの爆発性粉じんの近くや雰囲気内で使用しない。 * 爆発したり、火災の原因になります。

<b>⚠ 注 意</b>	
	実作業の前に、安全な広い場所で必ず操作の練習をする。 * 事故の恐れがあります。
	下記のものは清掃しない。 ①ガソリン・シンナー・灯油・塗料など、爆発性引火性のもの。 ②アルミニウム・マグネシウム、亜鉛などの発火性粉じん。 ③コピートナーなどの可燃性粉じん。 ④火のついたたばこの吸い殻、灰、炭など、高温のもの。 ⑤グラインダーなどから発生する火花を含む粉じん。 ⑥セメント粉・塗料粉・薬品など固形化するものや粘着性のもの。 ⑦人体に有害なものや酸性のもの。 * 爆発・火災・感電・故障の原因になります。
	防じんメガネ、防じんマスクを着用して清掃作業をする。 * 健康を害する恐れがあります。
	本機をフォークリフトで上昇・下降するときは、必ず本機の下に人がいないのを確認して作業する。 * 人身事故の恐れがあります。
	急発進・急停車・急旋回など「急」のつく操作はしない。 * 事故の危険や、本機の故障の原因になります。スムーズな操作をしてください。
	風の強い日の屋外や、著しくホコリを巻き上げるような場所で使用しない。 * 指を挟んだり、顔に当たるとケガをする恐れがあります。

## ●保守・点検の際の注意事項

⚠ 注 意	
 <p>修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 *異常動作・動作不良により、ケガや事故の恐れがあります。</p>	 <p>保守点検や清掃の際は、必ず保護手袋を着用する。 *ケガをする恐れがあります。</p>

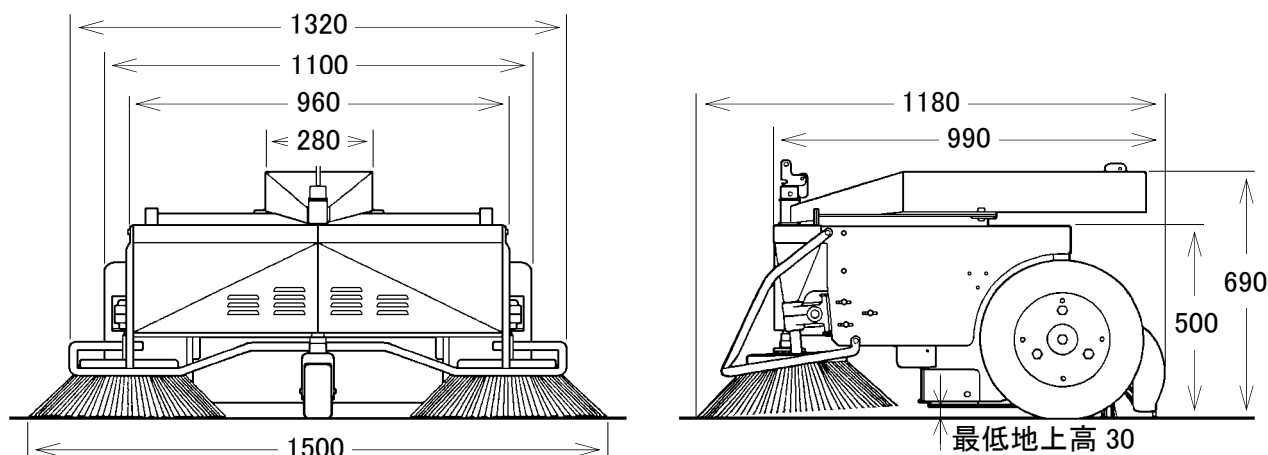
## ●保管の際の注意事項

⚠ 注 意	
 <p>本機をきれいに掃除して保管する。 *外装およびダストBOX内を水洗いし、水気をよく拭き取ってください。定期的にワックスをかけてください。汚れたまま放置していると、サビが発生し、故障や事故の原因になります。</p>	
 <p>屋内の雨水のかからない場所で保管する。 *雨水のかかる場所に放置すると、サビが発生し、故障や事故の原因になります。</p>	 <p>火気の近くで保管しない。 *熱のため本機が変形したり、火災の原因になる恐れがあります。</p>

## 2 仕様

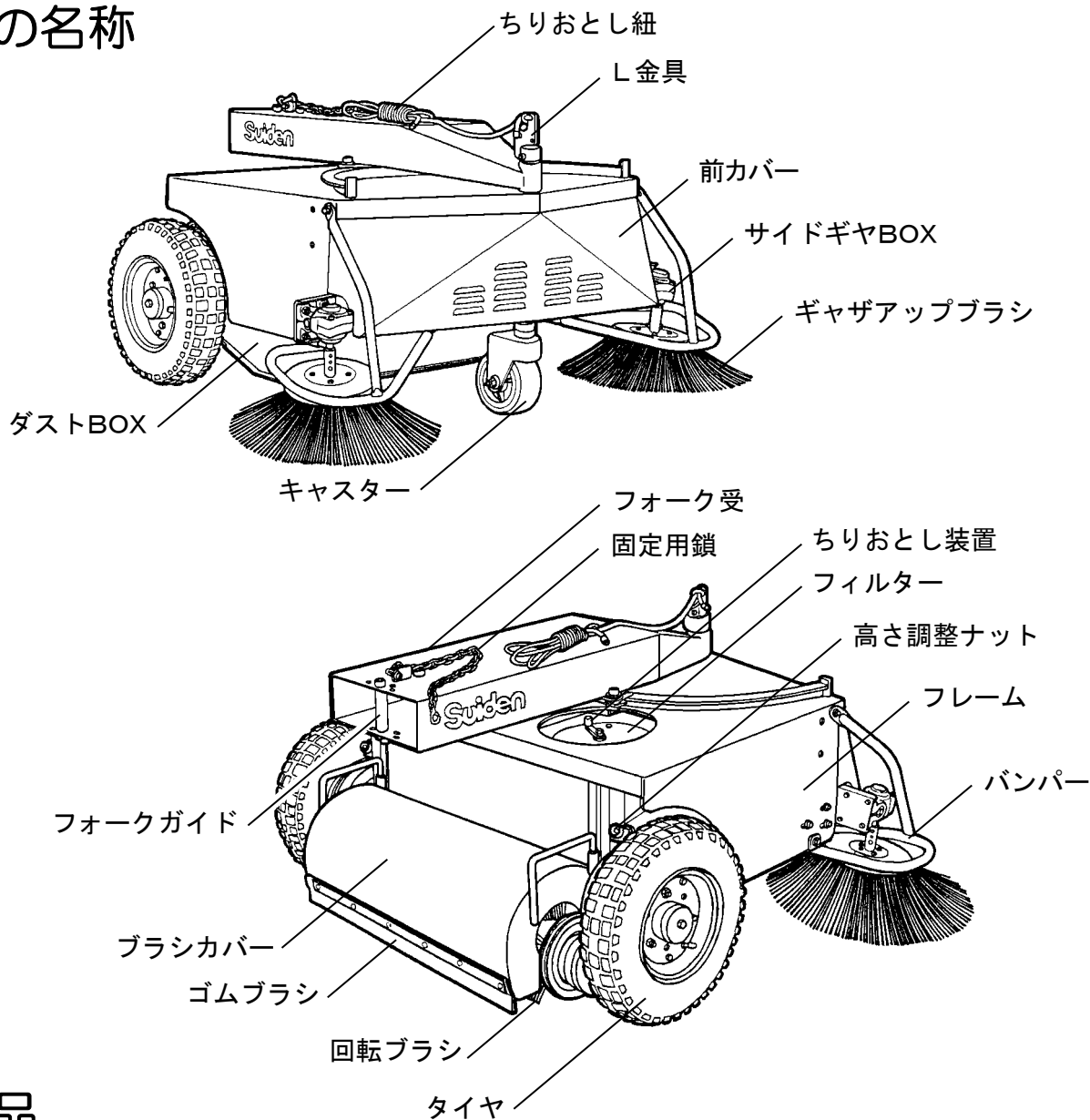
愛 称	メカホーキ Yuso
品 番	ST-1501DC
動 力 源	フォークリフト
清 掃 幅	1500mm
清 掃 能 力	7500 m <sup>2</sup> /h (フォークリフト走行速度5km/hのとき)
ダストBOX容量	20 L
質 量	130 kg
適合フォークリフト	0.75 t~2.0 t
フォーク調整幅	最大276mm

寸法図(単位:mm)



### 3 各部の名称と付属品

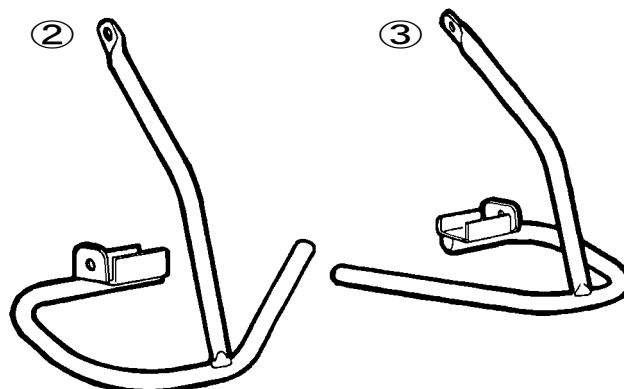
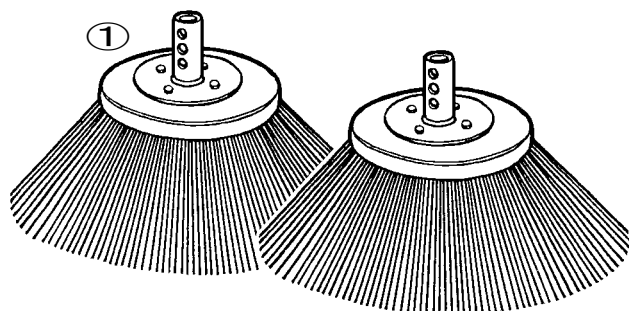
#### 各部の名称



#### 付属品

ボックスパレットに下記の付属品が同梱されています。組立て前にご確認ください。

- ① ギャザアップブラシ…… 2個
- ② バンパー右…………… 1個
- ③ バンパー左…………… 1個



## 4 準備

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

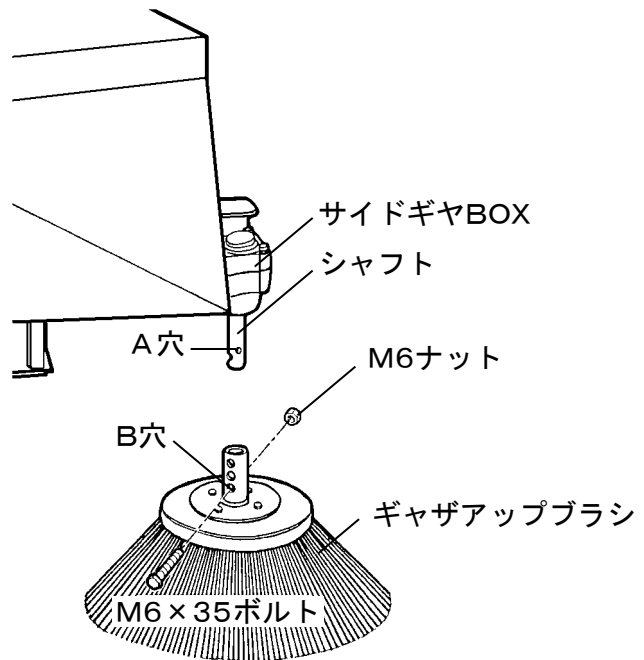
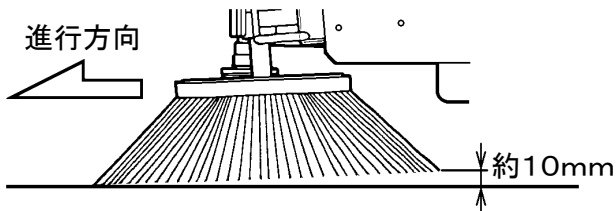
### 1. ギャザアップブラシの取付け

左右のサイドギヤBOXにギャザアップブラシを取付けます。

- ① ギャザアップブラシに仮止めしているM6×35ボルト・M6ナットを外します。
- ② サイドギヤBOXのシャフトにギャザアップブラシを挿入し、シャフトのA穴とギャザアップブラシのB穴の位置を合わせてボルト・ナットで固定します。

#### 注記

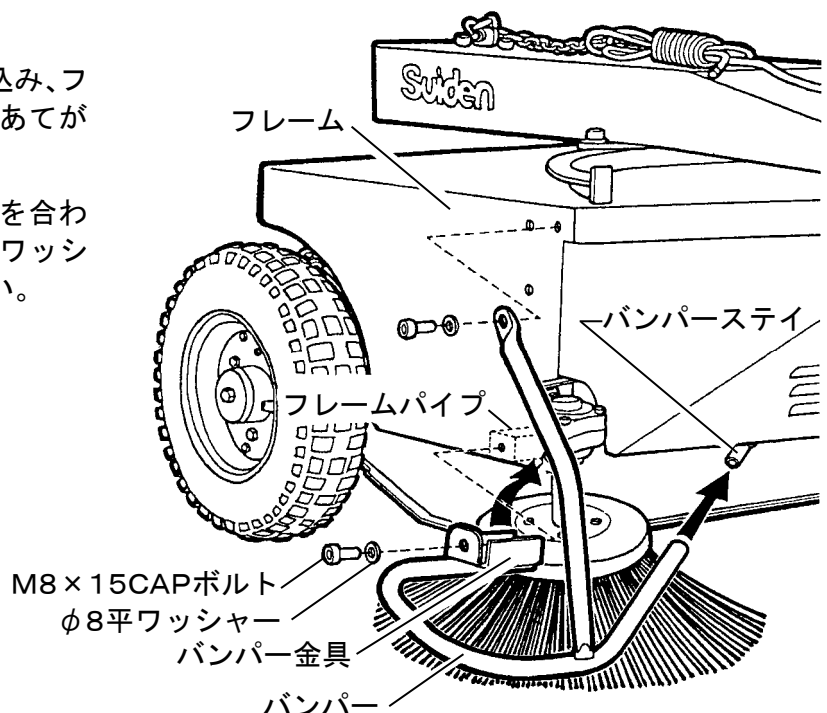
ギャザアップブラシは、ブラシの片側（進行方向に向かって後側）が床面より約10mm隙間が開くように、A穴とB穴で調整してください。



### 2. バンパーの取付け

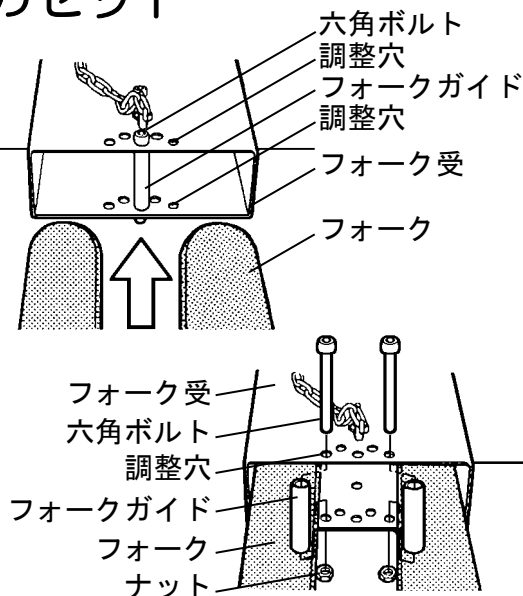
バンパー右とバンパー左をフレームに取付けます。

- ① フレームに仮止めしている2か所のM8×15CAPボルトとφ8平ワッシャーを外します。
- ② バンパーステイにバンパーを差込み、フレームパイプにバンパー金具をあてがいます。
- ③ バンパーとフレームの取付け穴を合わせ、①で外したCAPボルトと平ワッシャーでしっかり取付けてください。



### 3. フォーク幅の調整とフォークのセット

- ① フォーク受けに付属のフォークガイドと六角ボルト・ナットを取外します。
- ② フォークリフトのフォーク幅を、本機のフォーク受の幅(全幅276mm)に調整してください。
- ③ フォークを水平にし、フォーク受に静かに挿入します。
- ④ フォーク受に、フォークガイドの調整穴がありますので、フォークの太さに合わせてフォークガイドの位置を決めてください。  
フォークガイドは、六角ボルトとナットでしっかり固定してください。



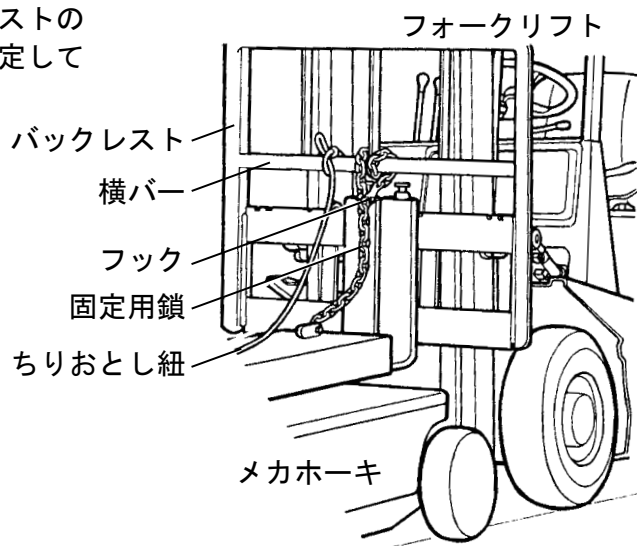
**注記** フォークを傾けた状態で、フォーク受に装着しないでください。  
\* 正常な清掃作業ができないばかりでなく、本機故障の原因になります。

### 4. 固定用鎖の巻き付け

本機の抜け止めのため、フォークリフトのバックレストの横バーに、固定用鎖を2回巻き付けて、フックで固定してください。

**⚠ 注意**

❗ 固定用鎖は、バックレストの横バーに必ず2回巻付ける。  
\* 固定用鎖を巻付けないと、フォークリフトの急停車などで、本機が抜けて暴走する恐れがあります。  
\* 固定用鎖の1回巻きは、固定用鎖が切れると本機が抜ける恐れがあります。



### 5. ちりおとし紐の固定

フォークリフトのバックレストの横バーにちりおとし紐を結んで固定してください。

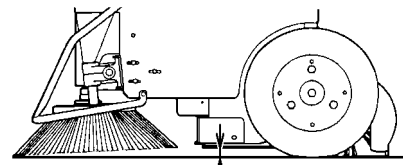
**注記** ①本機にちりおとし紐を載せたまま清掃作業をすると、作業中にちりおとし紐が床に落ち、本機に巻き込む恐れがあります。  
②ちりおとし紐を運転席側に引き込んで固定すると、段差や坂道などで本機を上昇したときにちりおとし紐が引っ張られてダストBOXカバーが開き、回収したゴミが散乱する恐れがあります。

# 5 使い方

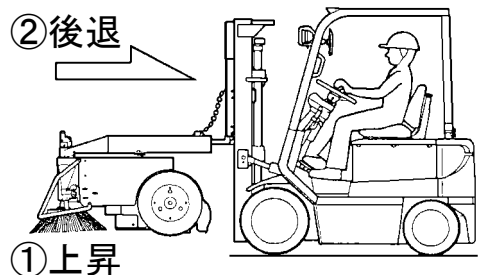
安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

## 注記

- ①水たまりでの使用は避けてください。  
\*回収した粉じんが水と共に流れ出し、床面や路面を汚す恐れがあります。
- ②本機の最低地上高は、30mmです。  
直径30mm以上の石や障害物のある場所での使用は避けてください。  
\*本機の故障、破損の原因になります。
- ③ひも、テープなど、回転ブラシに絡みつきやすいものは、本機で清掃できません。清掃作業前に拾ってください。
- ④フォークリフトが後退するときは、清掃作業ができません。後退するときは、まず、本機を上昇させてください。
- ⑤坂道の上り口や下り口、段差のある部分では、本機を上昇して走行してください。ブラシブリーおよびベルトが路面に接触し、損傷する恐れがあります。
- ⑥本機を上昇させるときは、フォーク受の位置にご注意ください。



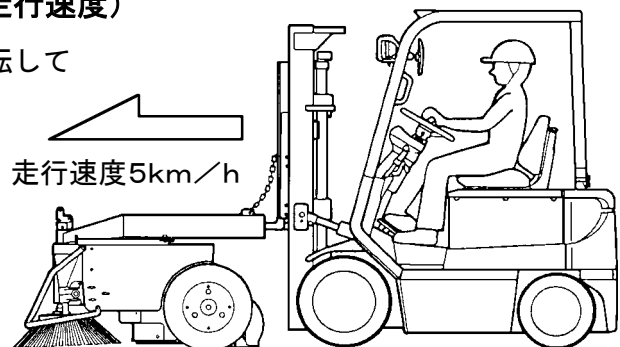
最低地上高30mm



本機をフォークリフトで押し進むと、清掃作業ができます。

## 1. 清掃スピード (フォークリフト走行速度)

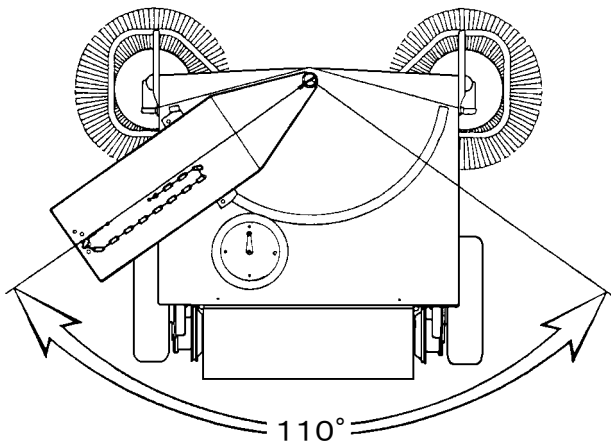
フォークリフトを5km/h (早足で歩く程度) で運転して清掃作業されることをお勧めします。



走行速度5km/h

## 2. 進路変更

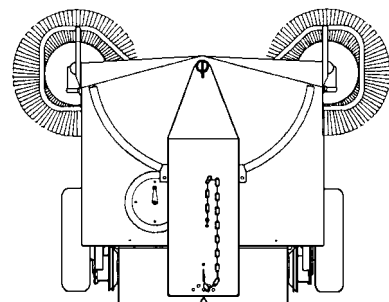
フォーク受は110°の範囲で可動しますので、フォークリフトの細かい進路変更にも追従します。



110°

## 注記

- ①110°を超える範囲で進路変更や旋回をする場合は、本機をフォークリフトで上昇させてください。  
\*タイヤ・ギヤBOXに負担がかかり、故障の原因になります。
- ②本機をフォークリフトで上昇させるときは、フォーク受の位置を下図のように中央にしてください。



フォーク受中央位置



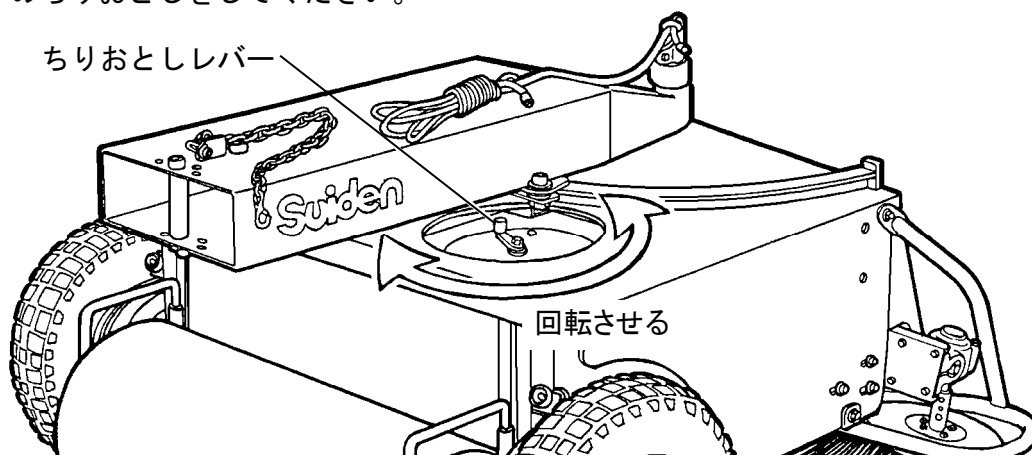
### 3. 集じんファン

#### (1) 機能

本機で清掃作業をするとき発生するホコリを、集じんファンで吸い上げて、フィルターで捕集します。集じんファンは、本機のタイヤに連動して回転しますので、入・切操作などは不要です。  
※ギャザアップブラシの回転により発生するホコリは集じんできません。

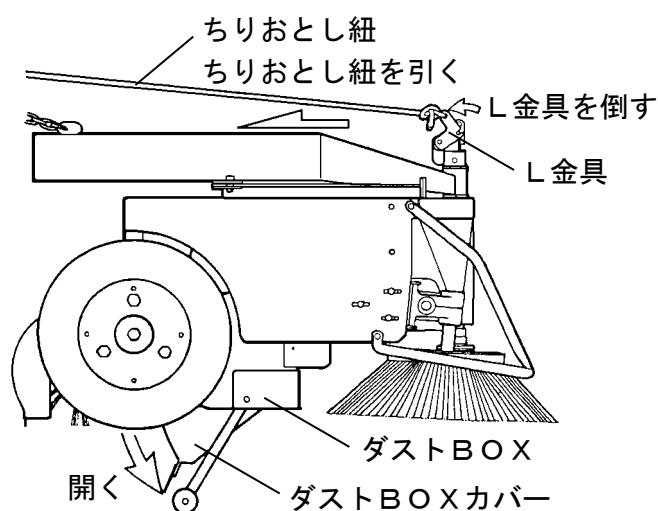
#### (2) ちりおとし装置

フィルターの捕集効率低下を防止するため、清掃作業の前後にちりおとしレバーを回転させて、フィルターのちりおとしをしてください。



### 4. ダストBOXに溜まったゴミを捨てる

- ① ゴミ処理場まで本機を移動してください。
- ② 本機をフォークリフトで上昇させます。  
※フォーク受の位置にご注意ください。
- ③ 本機の真下や近くに人がいないか、安全を確認してください。
- ④ ちりおとし紐をフォークリフト側に引っぱるか、L金具をフォークリフト側に倒すと、ダストBOXカバーが開き、ダストBOX内のゴミを排出します。
- ⑤ ゴミ排出後は、本機を静かに下降してください。ダストBOXカバーは自動的に閉まります。



**注記** ゴミは必ず所定の場所に捨ててください。  
\* 環境汚染の原因になります。

### 5. 保管

- ① 本機をきれいに掃除して保管してください。外装およびダストBOX内を水洗いし、水気をよく拭き取ってください。定期的にワックスをかけてください。
- ② 屋内の雨水のかからない場所で保管してください。
- ③ 火気の近くで保管しないでください。
- ④ 長期間使用しないときは、本機をきれいに清掃し、ホコリなどがかからないようにカバーをかぶせてください。

# 6 各部の調整

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

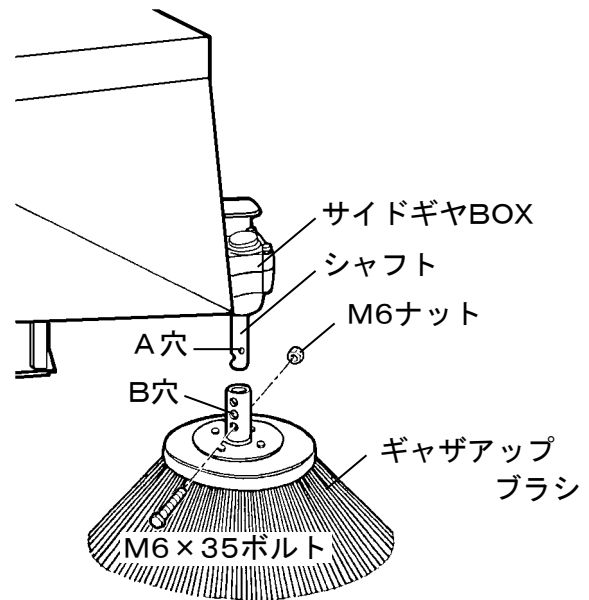
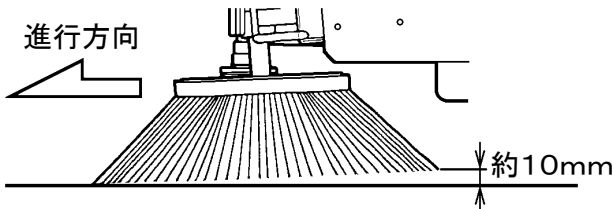
## 1. ギャザアップブラシの高さ調整

ギャザアップブラシは、長時間使用すると磨耗します。ゴミの掃き残しが多くなってきたら、ギャザアップブラシの高さを調整してください。

### ●調整方法

ギャザアップブラシの調整穴(3か所)とシャフトの調整穴(2か所)の組合せで、6段階に高さ調整ができます。

ギャザアップブラシの片側(進行方向に向かって後側)が床面より約10mmの隙間が開くように高さを調整し、ボルト・ナットで締付けてください。



## 2. Vベルトの調整

### ⚠ 注意



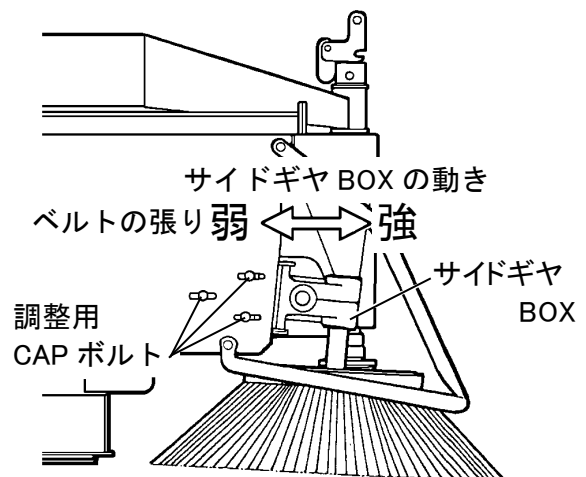
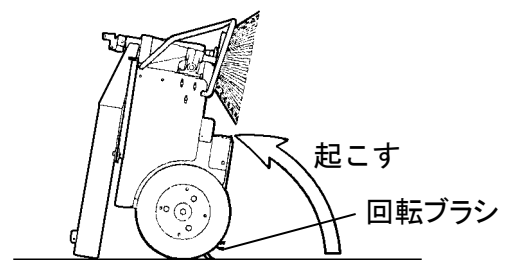
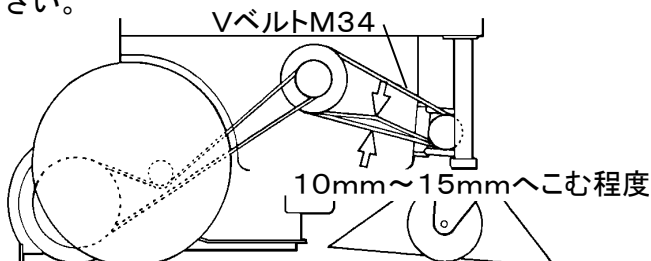
本機は、柱や壁などに立て掛け、必ずロープなどで固定する。

\*本機が転倒すると、ケガをする恐れがあります。

ギャザアップブラシや、回転ブラシの回転が不調なときは、Vベルトを調整してください。

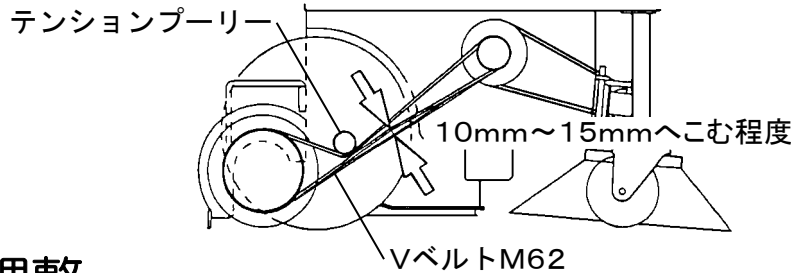
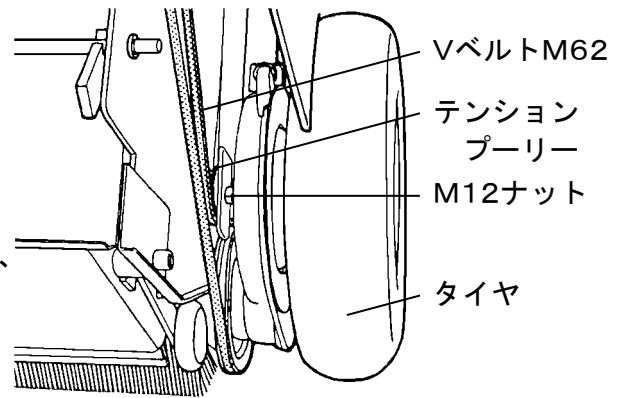
### (1) Vベルト M34の調整

- ① ブラシカバーを外し、回転ブラシが下になるように本機を起こします。
- ② フレーム側面の調整用CAPボルト(M8×30)3か所をサイドギヤBOXが動く程度にかるく緩めます。
- ③ サイドギヤBOXをスライドさせ、Vベルトを軽く押し10mm～15mmへこむ程度でCAPボルト3か所を締めて固定してください。



## (2) Vベルト M62の調整

- ① ブラシカバーを外し、回転ブラシが下になるように本機を起こします。
- ② タイヤの横に、Vベルトの張りを調整するテンションプーリーがあります。
- ③ テンションプーリーを固定しているM12ナットを、テンションプーリーが動く程度に軽く緩めます。
- ④ Vベルトを指で軽く押して10mm～15mmへこむ程度にテンションプーリーの位置を調整し、ナットを締め付けて、テンションプーリーを固定してください。



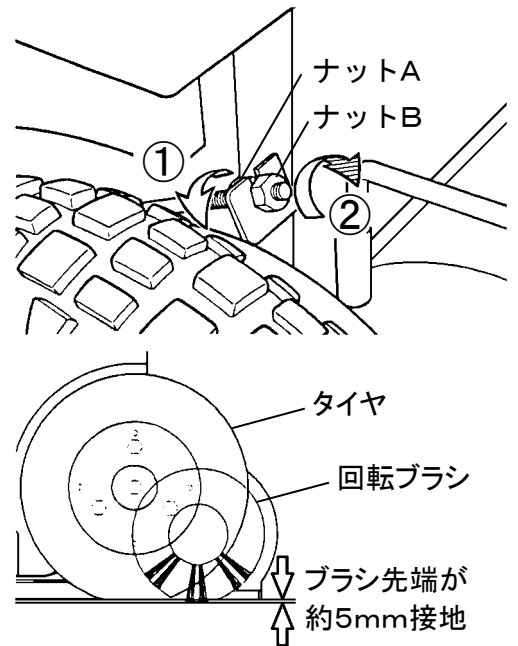
## 3. 回転ブラシの高さ調整

回転ブラシは、長時間使用すると磨耗します。ゴミの掃き残しが多くなってきたら、次の手順で回転ブラシの高さを調整してください。

### ●調整方法

両方のタイヤの内側に、高さ調整ナットが2個ずつ(合計4個)あります。

- ① 高さ調整ナットA(奥側・左右2個)を左に回して緩めてください。
- ② 回転ブラシの先端が、約5mm地面に接するように高さ調整ナットB(手前側・左右2個)を右に回して調整します。
- ③ 回転ブラシの高さを調整したら、ナットA(奥側・左右2個)を右に回して締め付けてください。



## 4. ダストBOXオープン用ワイヤーの調整

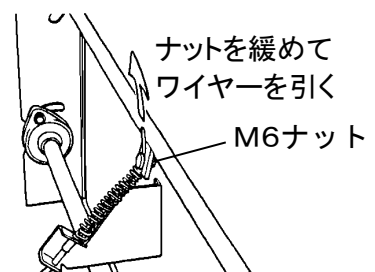
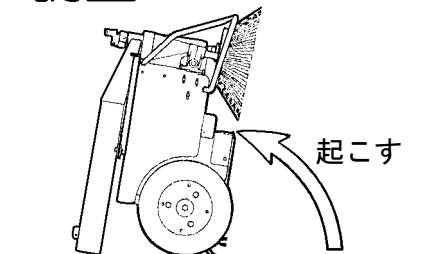
### ⚠ 注意



本機は、柱や壁などに立て掛け、必ずロープなどで固定する。  
\*本機が転倒すると、ケガをする恐れがあります。

ワイヤーが緩んでいると、ダストBOXがうまく開けませんので、ワイヤーの張りを調整してください。

- ① ブラシカバーを外し、回転ブラシが下になるように本機を起こします。
- ② ワイヤーを固定しているM6ナットを緩めて、ワイヤーをプライヤーなどで手応えがあるまで引っ張ります。
- ③ ②で緩めたナットをしっかりと締め付けます。



## 5. タイヤの空気圧

タイヤの適正空気圧は、2.2kg/cm<sup>2</sup>です。

時々空気圧をチェックして、減っているようであれば、2.2kg/cm<sup>2</sup>になるよう調整してください。

## 7 消耗部品の交換

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1. ギャザアップブラシ | 5. タイヤ   |
| 2. Vベルト M34  | 6. キャスター |
| 3. Vベルト M62  | 7. フィルター |
| 4. 回転ブラシ     | 8. ゴムブラシ |

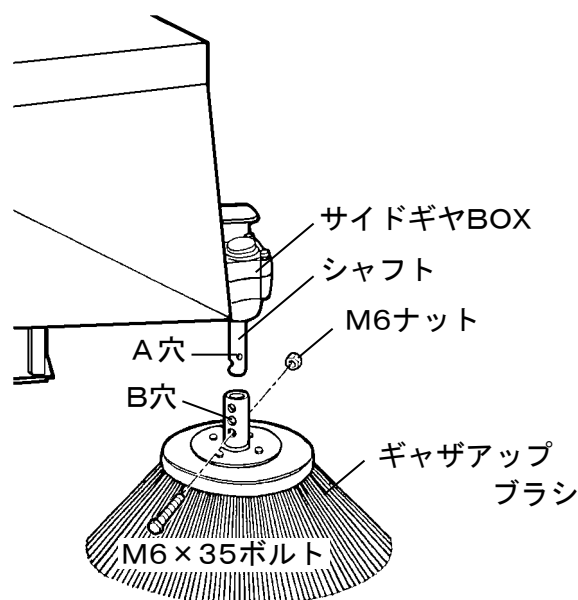
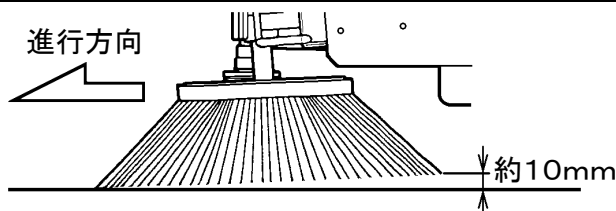
左記の部品は、消耗部品です。  
調整しても清掃効率が悪い場合や、部品が消耗した場合は、新品に交換してください。

### 1. ギャザアップブラシの交換

- ① シャフトからギャザアップブラシを外します。
- ② シャフトに新しいギャザアップブラシを挿入し、シャフトのA穴とギャザアップブラシのB穴の位置を合わせてボルト・ナットで固定します。

#### 注記

ギャザアップブラシは、ブラシの片側(進行方向に向かって後側)が床面より約10mm隙間が開くように、A穴とB穴で調整してください。



### 2. Vベルトの交換

#### ⚠ 注意



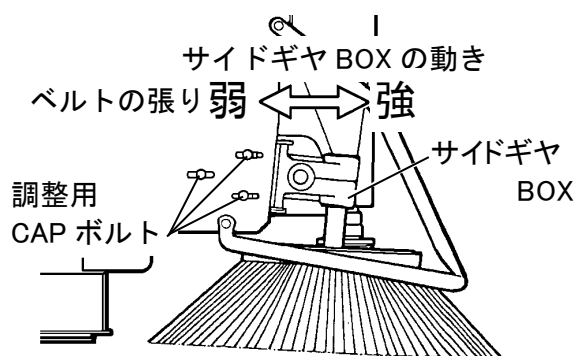
本機は、柱や壁などに立て掛け、必ずロープなどで固定する。  
\*本機が転倒すると、ケガをする恐れがあります。



VベルトとVプーリーの間に指を挟まないように注意して作業する。  
\*ケガをすることがあります。

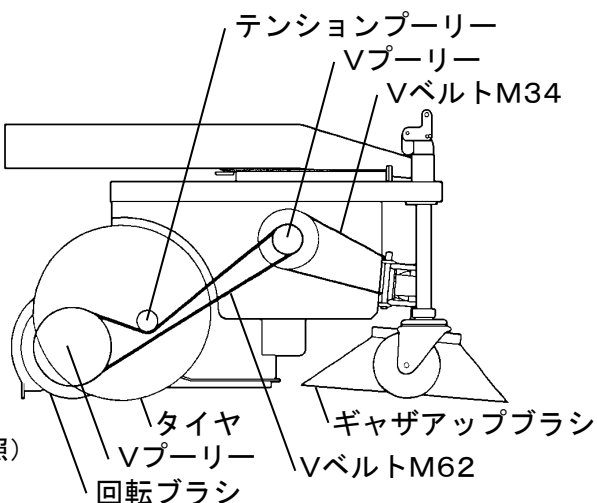
#### (1) Vベルト M34の交換

- ① ブラシカバーを外し、回転ブラシが下になるように本機を起します。
- ② フレーム側面の調整用CAPボルト(M8×30)3か所をサイドギヤBOXが動く程度にかるく緩めます。
- ③ サイドギヤBOXをスライドさせ、VベルトM34を軽く押しして10mm～15mmへこむ程度の位置でCAPボルト3か所を締めて固定してください。



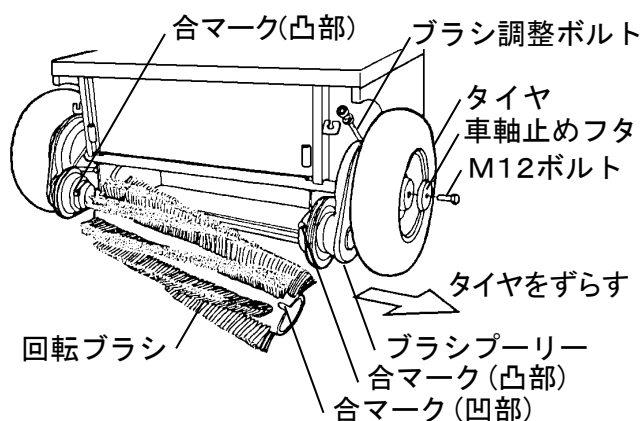
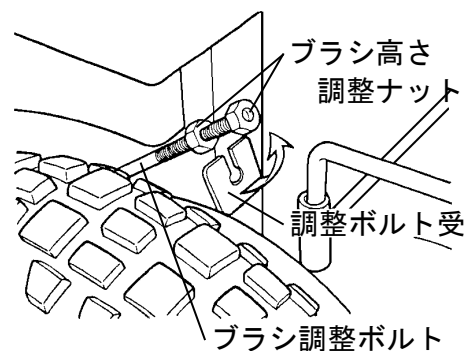
## (2) Vベルト M62の交換

- ① 回転ブラシを取外します。(次項参照)
- ② テンションプーリーを緩めます。(10ページ参照)
- ③ VベルトM34を外します。(前項参照)
- ④ VベルトM62を外し、新しいVベルトM62を装着します。
- ⑤ VベルトM34を取付けます。
- ⑥ 回転ブラシを取付けて、高さを調整します。(10ページ参照)
- ⑦ VベルトM62の張りを調整します。(10ページ参照)



## 3. 回転ブラシの交換

- ① 本機を、作業しやすい高さまでフォークリフトで上昇し、ブラシカバーを外してください。
- ② ブラシ高さ調整ナット(左右2個、合計4個)を緩めて、ブラシ調整ボルトを、調整ボルト受より外します。
- ③ 左右どちらか片方のタイヤの、ホイール中央のM12ボルトを緩めて、タイヤをずらします。
- ④ 回転ブラシを外します。
- ⑤ タイヤのブラシプーリーの合マーク(凸部)の位置に、新しい回転ブラシ先端の合マーク(凹部)を合わせて差込みます。  
③でずらしたタイヤをはめます。ずらしたタイヤのブラシプーリーにも合マーク(凸部)がありますので、回転ブラシの合マーク(凹部)に合わせて押し込んでください。  
タイヤホイール中央のM12ボルトを締め込み、タイヤを固定します。

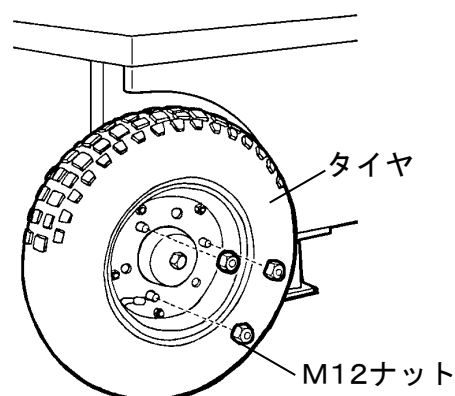


**注記** 合マークは、回転ブラシの両端と、左右両方のタイヤのブラシプーリーにあります。

- ⑥ ②で外したブラシ調整ナット(2本)を、調整ボルト受けにはめて、回転ブラシの高さを調整してください。(10ページ参照)
- ⑦ ブラシカバーを元に戻すと完了です。

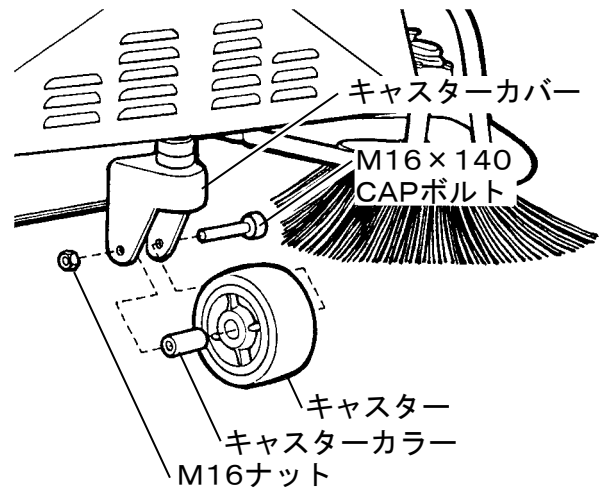
## 4. タイヤの交換

- ① ホイールを固定しているM12ナット3個を緩めます。  
※その他のボルト・ナットは、タイヤの交換には関係ありませんので緩めないでください。
- ② 本機をフォークリフトで作業しやすい高さまで上昇してください。
- ③ ①で緩めた、M12ナット3個で外し、タイヤをギャBOXより抜いてください。
- ④ 新しいタイヤをギャBOXに装着し、③で外したナットで仮締めします。
- ⑤ 本機を床に降ろして、④で仮締めしたM12ナット3個を均等に増し締めしてください。



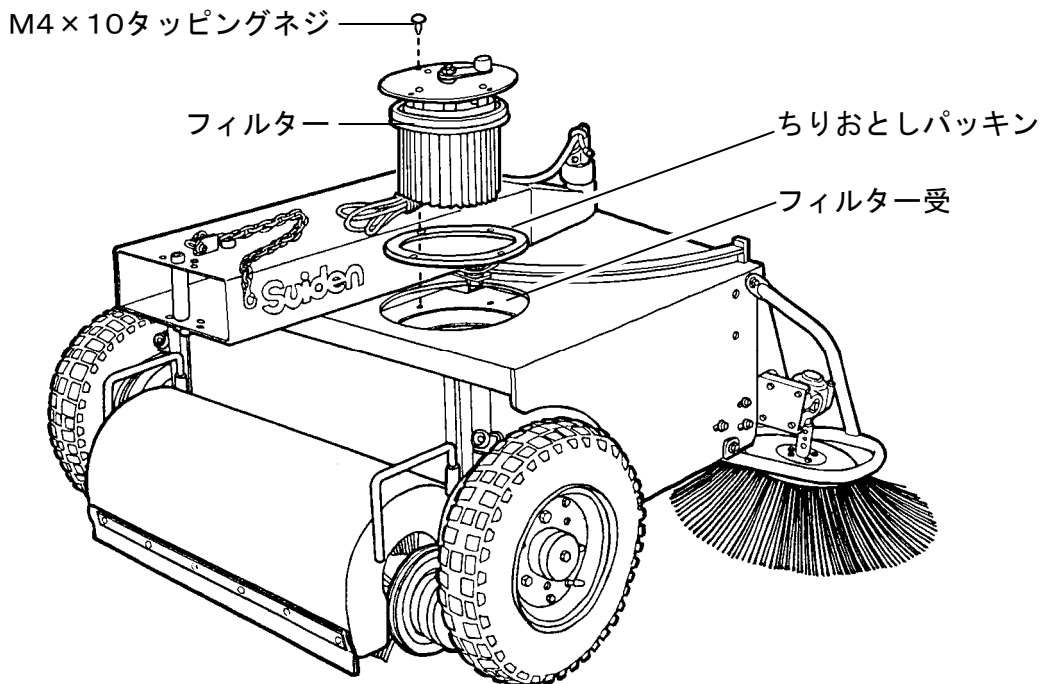
## 5. キャスターの交換

- ① 本機をフォークリフトで作業しやすい高さに上昇してください。
- ② M16ナットを緩めて、キャスターカバーからキャスターを外してください。
- ③ キャスターの中心からキャスターカラーを外します。
- ④ キャスターカラーを新しいキャスターに挿入してください。
- ⑤ キャスターをキャスターカバーにセットし、②で外したM16ナットとM16×140CAPボルトで固定します。



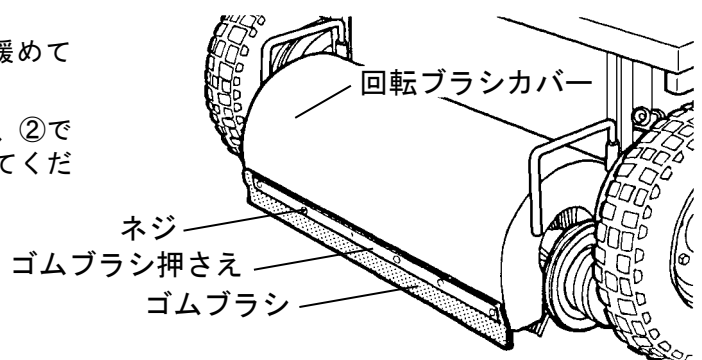
## 6. フィルターの交換

長期間使用すると、フィルターの捕集効率が低下します。フィルターを交換してください。



## 7. ゴムブラシの交換

- ① ブラシカバーを外してください。
- ② ゴムブラシを固定している6か所のネジを緩めてゴムブラシ押さえを外します。
- ③ 新しいゴムブラシをブラシカバーにあてがい、②で外したゴムブラシ押さえとネジ6本で取付けてください。
- ④ ブラシカバーを本機に付けてください。



## 8 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検をしてください。  
点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。

点検項目	処 置
各部のボルト・ナット類はゆるんでいませんか？ 特に、可動部分のボルト・ナットは入念にチェックしてください。	増し締めをしてください。
回転ブラシは正常にゴミを掃き込んでいますか？	①ブラシの高さを調整してください。(10ページ参照) ②調整しても正常に掃き込まない場合は、ブラシの寿命です。ブラシを交換してください。(12ページ参照)
ブラシカバーのゴムブラシは、磨耗していませんか？	ゴムブラシを交換してください。(13ページ参照)
ダストBOXは、スムーズに開きますか？	ダストBOXオープン用ワイヤーを調整してください。(10ページ参照)
キャスターは、変形したり磨耗していませんか？	キャスターを交換してください。(13ページ参照)
タイヤの空気圧は減っていませんか？	適正空気圧(2.2kg/cm <sup>2</sup> )に調整してください。
タイヤは磨耗していませんか？	タイヤの溝が極端に浅くなっている場合は、タイヤを交換してください。(12ページ参照)
ダストBOX内にゴミが溜まったままになっていませんか？	ゴミを処理してください。
固定用鎖は、錆びたり磨耗していませんか？	鎖を交換してください。
各部のVベルトは切れたり伸びたりしていませんか？	Vベルトの張りを調整または交換してください。
ギャザアップブラシは正常にゴミを掃き込んでいますか？	①各部のVベルトの張りを調整してください。 ②ブラシの高さを調整してください。 ③調整しても正常に掃き込まない場合は、ブラシの寿命です。ブラシを交換してください。
バンパーは変形していませんか？	バンパーを交換してください。

## 9 こんなときは（故障かな？と思ったら）

症 状	調 べ る と こ ろ	直 し か た
スムーズに動かない。	フォークを下げすぎて、本機を押さえつけていませんか？	フォークを適正な高さに調整してください。
本機の動きが不安定。左右に蛇行する。	本機のフォーク受に、フォークリフトのフォークを正しく装着していますか？	フォーク受の幅を調整してください。(6ページ参照)
掃き込みが悪い。	回転ブラシは、清掃面に適正に接地していますか？	①回転ブラシの高さを調整してください。 ②調整しても掃き込みが悪い場合は、ブラシの寿命です。ブラシを交換してください。
ダストBOXが開かない	ダストBOXオープン用ワイヤーがゆるんでいませんか？	ワイヤーを調整してください。(10ページ参照)
ブラシカバーからゴミが漏れる	ゴムブラシが磨耗していませんか？	ゴムブラシを交換してください。(13ページ参照)
ギャザアップブラシの掃き込みが悪い。	ギャザアップブラシは、清掃面に適正に接地していますか？	①ギャザアップブラシの高さを調整してください。(9ページ参照) ②調整しても掃き込みが悪い場合は、ギャザアップブラシの寿命です。ブラシを交換してください。(11ページ参照)
	ブラシ用金具や、ハブが変形していませんか？	ギャザアップブラシを交換してください。(11ページ参照)
ギャザアップブラシが回転しない、または回転がゆるい。	各部のVベルトが伸びたり、切れていませんか？	各部のVベルトの張りを調整するか交換してください。(9～12ページ参照)

■上記処置をしても症状が改善しない場合は、販売店またはスイデンお客様相談室へご相談ください。

# 10 アフターサービスと保証について

## △ 注意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

- \* 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
- \* 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- \* 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

### ●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自に設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

### ●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。（日本国内でご使用の場合に限ります。）  
ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

## △ 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検



### ★長年ご使用のスイーパーの点検を！

このような症状はありませんか？

- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形している。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

お願い  
異常があれば  
ご使用を  
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ご使用中を中止し、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

### アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

#### ●お買い上げ販売店のメモ欄

店名	お買い上げ年月日 年 月 日
所在地	TEL
	FAX

《製品の廃棄について》 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室 フリーダイヤル  0120-285-240

Eメールでのお問い合わせは [info@suiden.com](mailto:info@suiden.com)

株式会社  〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪 2-4-24 ホームページ <https://www.suiden.com>